

モニタリング結果報告書 (平成27年度)

1. 施設概要

施設名	神奈川県ライトセンター		
所在地	神奈川県横浜市旭区1-80-2		
サイトURL	http://www.kanagawalc.org/		
根拠条例	神奈川県ライトセンター条例		
設置目的(設置時期)	身体障害者法第34条の規定により、無料で点字刊行物等を視覚障害者の利用に供し、及び視覚障害者に対して各種指導、訓練、スポーツ活動等の振興等を行い、並びに視覚障害者に対する社会奉仕活動を行おうとする者に対してその活動のための便宜を供与し、もって視覚障害者の生活の充実及び文化の向上並びに視覚障害者に対する社会奉仕活動の振興を図る。(昭和49年8月)		
指定管理者名	日本赤十字社		
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	施設所管課	障害福祉課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況及び利用者の満足度はB評価、収支状況はS評価となり、3項目評価はA評価となった。また、事故・不祥事等も発生していないことから、総合的にみて良好な施設運営と言える。利用状況については、音声図書のデジタル化や、スポーツ施設利用者の安全確保等の取組みを継続するとともに、普及啓発による利用の拡大を期待したい。満足度調査では、不満が3%と少なく、職員の対応では77%以上が満足と高評価を得ていることから、引き続き満足度向上に努めてもらいたい。また、県内の視覚障害者支援の拠点として、他施設等に対してその専門的なノウハウの普及に継続的に努めてもらいたい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づき、視覚障害者及びそれを支援するボランティアへの各種支援事業等を着実に実施している。</p> <p>◆利用状況 昨年度と比べると施設利用者数は微減となっているが、着実に事業を実施している。利用者数減少の一因としては、プール利用の一時休止(H28.2～H28.3)や、デイジー図書利用者の一部がインターネット上の「サピエ図書館」に切り替えたためと考えられる。利用者数は、対前年度比95.8%であり、B評価とした。</p> <p>◆利用者の満足度 総合満足度の評価において、「非常に満足」「満足」と回答とした割合が68.1%であり、利用者から一定の満足度を得てはいるがB評価とした。一方、図書の貸出、図書館職員の対応については、80%以上が「非常に満足」「満足」と回答しており、高評価となっている。回答数も昨年比で1.5倍に増加している。</p> <p>◆収支状況 提案に基づき、計画を実施している。収入合計の支出合計に対する割合は、110.43%であり、S評価とした。</p> <p>◆苦情・要望等 全体として要望等を積極的に把握し、サービス向上を図っている。</p> <p>◆事故・不祥事等 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 指摘事項等はなかった。</p>	

3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	なし
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	なし	なし
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>視覚障害者の読書環境をなお一層改善し、個人利用を積極的に推進するための情報提供施設事業を実施。</p>	<p>図書については、より利用者ニーズの高いデジタル図書や、新たに加えた拡大図書の充実を図り、サービスの向上に取り組んでいる。 (平成27年度実績) <製作> 点字図書438タイトル、1,865巻 デジタル図書263タイトル、263巻 拡大図書20タイトル、76巻 <貸出> 点字図書2,059タイトル、8,852巻 デジタル図書40,778タイトル、41,393巻 テープ図書1,185タイトル、9,355巻</p>	
<p>視覚障害者の生活に必要なスキルを身につけるための指導・訓練事業を実施。</p>	<p>歩行訓練では、歩行訓練士による外出トレーニングを実施している。また、料理教室等の日常生活指導や視覚障害乳幼児、保護者の指導を実施している。 (平成27年度実績) <相談・訓練 2,407件> 歩行：相談440件、訓練318件 日常生活：相談334件、指導27件 録音図書相談172件 点字：相談101件、訓練121件 コミュニケーション訓練144件 他</p>	
<p>視覚障害者の多様化するニーズに対応するため、ボランティア育成事業を実施。</p>	<p>視覚障害者を支援し、積極的に活動できるボランティアの育成のため、必須である基礎ボランティア養成講座を受講後は、各ボランティアの目的に合わせて、点訳・誘導・スポーツ介助等の体系化された研修を実施している。 (平成27年度実績) ボランティア入門講座174回 ボランティア研修39回 ボランティア団体指導育成47回</p>	
<p>視覚障害者のスポーツを促進し、スポーツ施設の有効利用を図るためにスポーツ振興事業を実施。</p>	<p>水泳やアライントサッカー等の各種スポーツ教室やスポーツ競技会等を開催している。 また、地域で行われるスポーツ大会への協力や地域のスポーツセンターが視覚障害者を受け入れるための環境整備に取り組んでいる。 (平成27年度実績) 体育館でのスポーツ教室53回 プールでのスポーツ教室117回 大会への協力5大会 地域スポーツ振興4回</p>	
<p>視覚障害者に対する理解を促進するための普及啓発事業を実施。</p>	<p>小中学校等の生徒や教員を対象に福祉教室等の開催を実施。 また、施設見学を積極的に受け入れ、視覚障害に対する理解促進に取り組んでいる。 (平成27年度実績) 福祉教室等3,637名 施設見学537名</p>	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
該当なし	

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
B	

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	93,572	95,974	91,931
対前年度比		102.6%	95.8%
目標値			
目標達成率			

目標値の設定根拠： 前年度実績

利用者数の算出方法（対象）： 体育施設利用者等来所者数と図書貸出数の合計

[参考：最大利用可能人数／年]

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
B	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	年に1回1月～3月の間	前年度と比べ、回答数が増加し、全体評価は概ね前年度同様であった。更なる利用者のニーズの把握やサービスの向上に努めていく。

[施設としての総合的評価]

質問内容 ライトセンター施設全体の満足度はいかがですか。

ライトセンター便り掲載、ホームページ掲載、調査票設置、聞き取り、郵送・電話・メール・ファクシミリでの受付
 実施した調査の配布方法 回収数/配布数 回収数173（配布数不明）

配布(サンプル)対象 ライトセンターを利用する視覚障害者・他障害者・ボランティア等

	非常に満足	満足	普通	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
施設としての総合的評価の回答数	25	88	48	5	166	理由は不明
回答率	15.1%	53.0%	28.9%	3.0%		
前年度の回答数	14	56	24	4	98	
前年度回答率	14.3%	57.1%	24.5%	4.1%		
回答率の対前年度比	105.4%	92.8%	118.1%	73.8%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 図書館職員の対応、スポーツ担当職員の対応、その他の職員の対応はいかがですか。

ライトセンター便り掲載、ホームページ掲載、調査票設置、聞き取り、郵送・電話・メール・ファクシミリでの受付
 実施した調査の配布方法 回収数/配布数 回収数173（配布数不明）

配布(サンプル)対象 ライトセンターを利用する視覚障害者・他障害者・ボランティア等

	非常に満足	満足	普通	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	47	63	29	3	141	理由は不明
回答率	33.0%	44.3%	20.5%	2.1%		
前年度の回答数	26	35	20	2	83	
前年度回答率	31.3%	42.2%	24.1%	2.4%		
回答率の対前年度比	105.4%	105.1%	85.2%	88.1%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

--

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超える マイナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳			収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	281,746	0	32,000	自主財源 32,000	313,746	313,746	0	100.00%
	決算	281,746	0	32,000	自主財源 32,000	313,746	314,446	-700	99.78%
前年度	当初予算	285,613	0	32,000	自主財源 32,000	317,613	317,613	0	100.00%
	決算	285,613	0	32,000	自主財源 32,000	317,613	305,791	11,822	103.87%
27年度	当初予算	285,613	0	32,000	自主財源 32,000	317,613	317,613	0	100.00%
	決算	285,613	0	32,000	自主財源 32,000	317,613	287,620	29,993	110.43%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

27年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
平成27年11月	670	高圧真空遮断器、過電流継電器更新工事
平成27年12月	322	車いす使用者用駐車区画改修工事
平成28年2月	167	漏水対策工事
平成28年3月	496	空調機自動制御装置改修工事
平成28年3月	1,556	プール塗装工事

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 200千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容	対面	1 件	定期刊行物の拡大版の印刷が薄く、一部読みにくい。	在庫を差し替えるとともに、スタッフに周知し、次号以降の改善を図った。
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況
	該当なし		

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。